



さくらんぼ広場レター



県北保健福祉事務所では、小さく生まれた赤ちゃん和妈妈への支援を行っています。
その支援の1つとして、「さくらんぼ広場」という小さく生まれた赤ちゃん和妈妈の相談・交流会を年4回行っています。

今年度のさくらんぼ広場は、10月9日で終了しましたが、主な内容は下記のとおりですので、参考してみてください。

医師を囲んで

7月10日、医大NICUの佐藤真紀先生を囲んで、生活リズム、緊急時の対応（発熱、下痢、熱性けいれん、嘔吐、脱水）について講話をいただきました。

また、質問形式で不安なこと疑問なことについてお話しを伺いました。

あせもで気をつけることはありますか？



あせもの原因は汗の刺激です。
夏場は薄着、気温調節に気をつけ、シャワーをこまめにするなど肌を清潔に保ちましょう。

未熟児貧血があり、増血剤を内服していましたが、服用しなくなりました。
食事で気をつけることはありますか？



貧血は1歳を過ぎるとしだいに良くなります。
バランス良く食べることが大切です。
フォローアップミルクの利用もいいでしょう。

牛乳は修正月齢で与え始めた方がよいですか？



月年齢で開始してよいです。
加熱処理をしたものから、便の状態を観察しながら進めてください。

先輩ママを囲んで

10月9日、Nクラブの先輩ママ2人を迎え、不安や悩んでいることなどに対してお話を伺うことができました。

- お座りをしないで、つかまり立ちやハイハイになってしまいます。
- 集団（保育所）は大丈夫かなあ？
- おしゃぶりや母乳を止められません。
- 早く出産してしまったことで、自分を責めてしまう・・・。



Nクラブ先輩ママさんからは、「様々なお子さんのママが会員さんで、共感できることも多くあると思います。顔を会わせて話すことが不安の軽減に繋がり、ママのストレス発散にもなります。ぜひ、どんなことでもいいのでご相談ください（^-^）」とのお話がありました。



Nくらぶ (福島 NICU 親の会)

主に小さく生まれた赤ちゃんを持つ親が、お互いの情報を交換し合い、育児に悩む方々の癒しになるような会を目指しています。

問い合わせ先 TEL/FAX **024-557-6301** (古山方)

誤飲(たばこ)

お子さんの誤飲で最も多いのはたばこです。

小児におけるニコチンの急性致死量は、たばこ1/2~1本とされています。

飲んだ量が正確に分かる訳ではないので、胃洗浄をすることが多いです。

水などにたばこを浸した液を飲んだ場合はとても危険です。



どんな症状が
ありますか？

- ・30分から4時間後に吐く場合があります。
- ・顔色が青白くなります。
- ・よだれや冷や汗が多く出たりします。
- ・元気がなくなったりします。

どう対処したらいいですか？

- ① たばこの葉や吸い殻を大量(2cm以上)に食べた場合は、何も飲ませず食べさせずにすぐ病院を受診しましょう。
- ② 灰皿の中の水などたばこを浸した液を飲んだ場合は、水や牛乳などを飲ませて吐かせて、すぐ病院を受診しましょう。
- ③ 乾いたたばこを少量(2cm以下)食べた場合は、家庭で1日様子をみます。症状がある場合は病院を受診しましょう。



福島県こども救急電話相談

看護師や医師などが家庭での対処法などについてアドバイスします。

短縮ダイヤル **#8000** または **024-521-3790**

受付時間 毎日、午後7時~翌朝8時

問い合わせ先 福島県保健福祉部医療看護課 電話024-521-7221

育児ボランティア



育児ボランティアすけっとくらぶ

低体重で生まれたお子さん、双子ちゃん、三つ子ちゃん(多胎児)、療養を必要とするお子さん(0~18歳)の育児にお困りのお母さん方をサポートするボランティア団体です。

問い合わせ先 TEL **080-5577-2598**

FAX **024-591-2882** (梅津方)

お問い合わせ

このさくらんぼ広場レターを育児の参考にして頂ければ幸いです。

何か心配なこと疑問や不安なことがあればいつでもお気軽にご連絡ください。

小さく生まれた赤ちゃんとママの支援内容

- ・電話相談
- ・家庭訪問
- ・未熟児養育医療の給付
- ・低体重児出生届の受理

県北保健福祉事務所 児童家庭支援チーム

相談受付時間 平日、午前8時30分~午後5時30分

〒960-8012 福島市御山町8番30号 電話 **024-534-4155**